

喜界町



# 議会だより

193号

令和5年10月20日発行



写真：早町小運動会「家族でよ～いドン」



主	令和4年度 一般会計決算審査	2
な	決算審査現地視察	5
内	令和5年度 一般会計補正予算	6
容	一般質問に6名が登壇	8
	読者の声・議会のうごき・編集後記	14



発行/喜界町議会 編集/議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

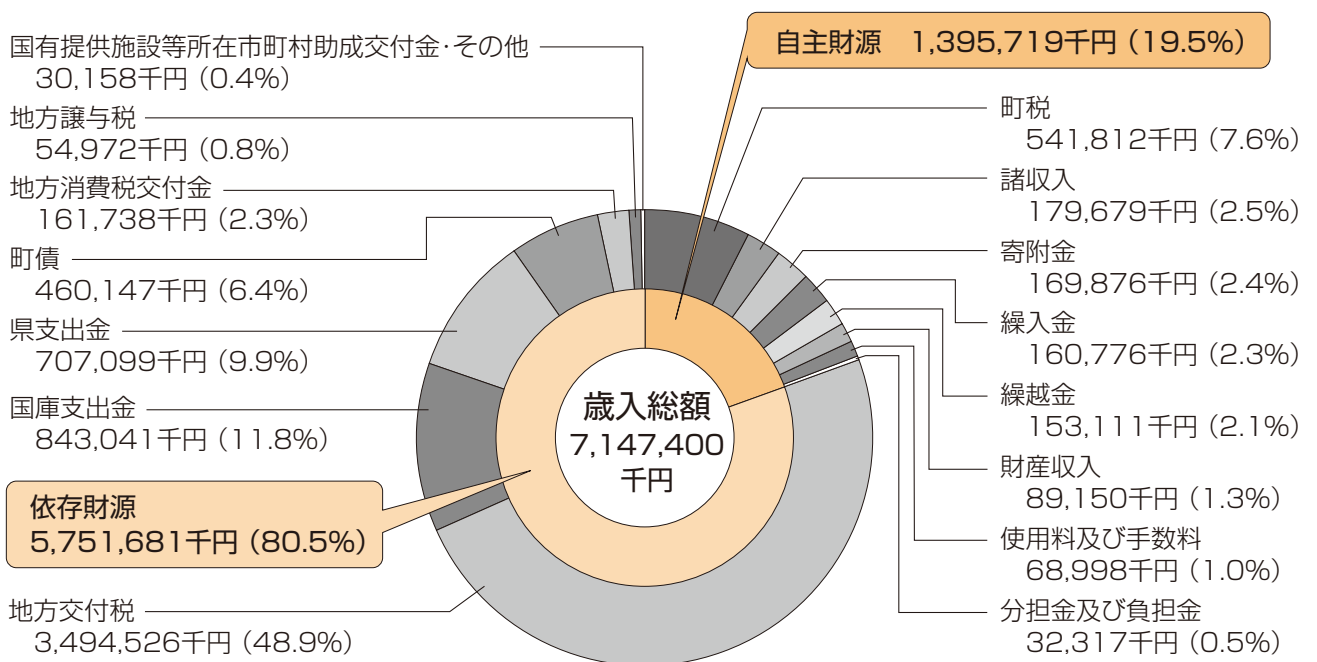
TEL:0997(65)1115・FAX兼用

令和5年第3回定例会は、9月6日開会し9月19日まで14日間の会期で開かれた。9月6日は一般質問があり6名が登壇。また報告4件があり、議案8件を各常任委員会へ、認定7件を決算審査特別委員会へ付託した。9月19日の最終本会議では、各常任委員会、決算審査特別委員会の委員長から報告があり、議案8件を可決、陳情1件を採択し、認定7件を認定、追加議案の承認1件を承認した。

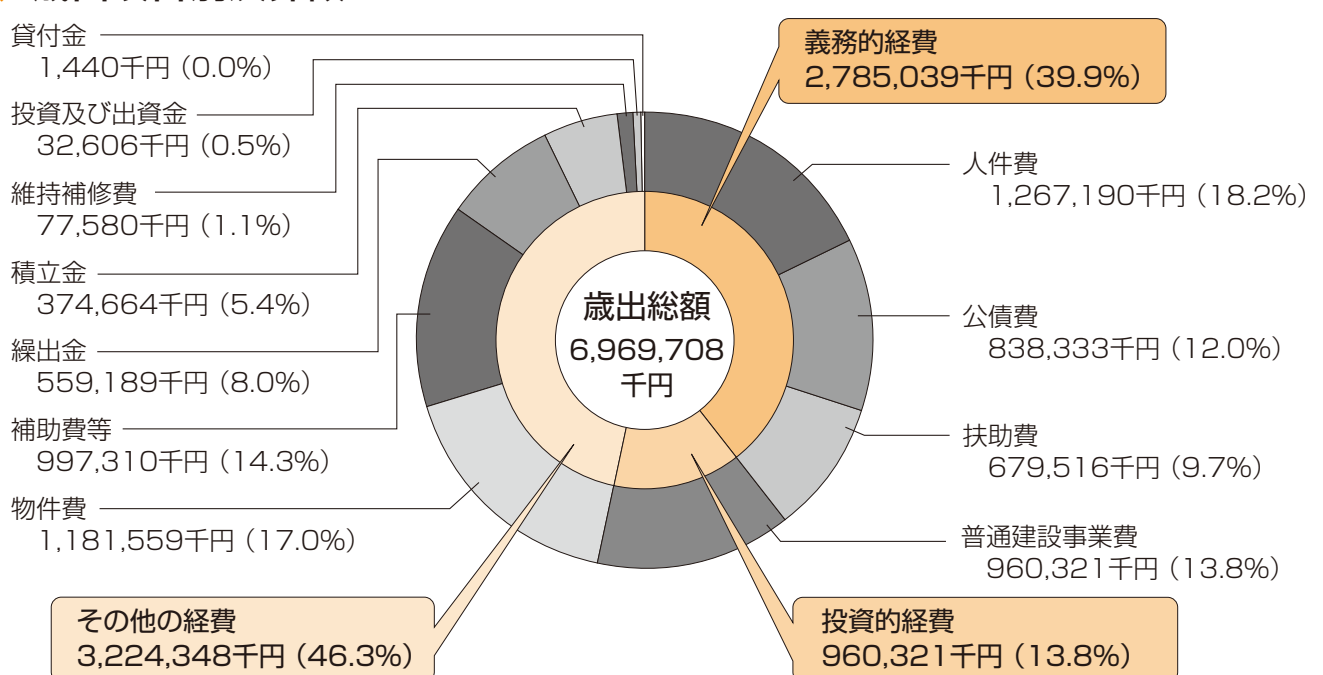
## 人口一人当り決算額106万円

### 令和4年度喜界町一般会計の決算審査認定

#### ❖ 歳入項目別決算額



#### ❖ 歳出項目別決算額



# 決算審査の主な事業

## 決算審査特別委員会報告 (委員長: 安田 英次郎)

担当課	事業名	内容説明	決算額
総務課	庁舎管理	庁舎屋上防水工事(町単独事業)など	43,800千円
	財産管理費	旧坂嶺幼稚園解体・撤去工事費や各種保険料、委託料など	396,233千円
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費	①旧志戸桶幼稚園トイレ改修工事 ②公民館雨戸設置(川嶺・上西・上中・上東・先山・羽里・山田・池治・中間・先内・中熊・西目・嘉鈍・蒲生) ③プレミアム商品券発行 ④港湾・空港検温作業 ⑤糖業・畜産事業者支援 ⑥子育て世帯等臨時特別支援給付金支給 など感染症対策や経済の衰退を抑え活性化を図った	267,000千円
企画観光課	ジオパーク推進事業費	プロジェクトチームの発足。町長、職員、議員へのジオパーク研修会を実施。また早町地区の防災訓練では、ジオと防災を絡めた説明を行いジオパークの周知を図った	8,300千円
消防分署	消防費	消防職員15名(内 救命救急士7名・潜水土10名) 消防団員108名。 令和4年度実績(火災2件、救急407件、捜索2件、島外搬送42件、不発弾処理2件)	211,600千円
町民税務課	戸籍住民基本台帳費	委託料(町単独事業)等	47,093千円
	海岸漂着物等地域対策推進事業費	シルバー人材センター委託料など。台風の襲来により、島の周囲全域に大量の漂着物が流れたため、廃棄物処理業者により処理を行った	15,639千円
	塵芥処理費	廃棄物収集及び運搬業務委託、シルバー人材センター委託料など。生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る	141,822千円
農業振興課	農業振興費	畜産基盤再編総合整備事業負担金、増産推進事業補助金など。飼育管理技術を指導し優良牛などによる肉用牛の改良を進めた	38,131千円
	畜産振興費	畜産基盤再編総合整備事業負担金、増頭推進事業補助金など	30,259千円
	喜界町営農支援センター運営費	営農支援センター管理作業委託金、園芸指導員委託料など	10,679千円
	鳥獣防止対策事業費	鳥獣害から農作物被害軽減に努めるため、シカやカラス駆除等を行った	1,700千円

## 決算審査特別委員会報告

担当課	事業名	内容説明	決算額
まちづくり課	道路新設改良費	誰もが安心して生き活きと暮らせる生活空間の形成や安全・快適に移動できる道路環境を形成するため、町道や集落道の整備を積極的に行った。(早町・中里・赤連)	89,900千円
	地域住宅交付金事業費	公営住宅は耐用年数を超過し、老朽化していることから安全対策及び住環境の改善を図るため、公営住宅の建替を行った。(湾宮戸住宅新築工事・中里建設予定地地質調査)など	129,800千円
保健福祉課	社会福祉総務費	ひとり親家庭医療費助成金等	316,986千円
	電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業費	住民税非課税世帯 1,393世帯×3万円等	70,075千円
	高齢者福祉費	「食」の自立支援事業(配食サービス)委託料等	21,905千円
	こども医療費助成事業費	こども医療費助成金	9,844千円
	新型コロナウイルスワクチン対策事業費	医師2名 看護師7名 集団接種会場への送迎バス運行費等	26,842千円
教育委員会 総務課	小学校・中学校費	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進 ○道徳教育の充実 ○ICTを活用した学習活動の充実 ○幼・小の連携、中高一貫教育の充実などに取り組んだ	81,500千円
	幼稚園費	あゆみ幼稚園:黒板張替、体育館門修理、フェンス修理。 のぞみ幼稚園:舞台修理	4,375千円
	給食施設費	賄材料費。物価高騰を予想し食材の見積入札を実施したが、児童数減少等で昨年より約140万円減	36,409千円
教育委員会 生涯学習課	公民館費	中央公民館前に身障者用駐車場設置及び3か所に手すり設置	1,699千円
	文化活動費	喜界馬補修委託料(中央公民館のはく製馬)	1,587千円
	図書館費	図書館前に身障者用駐車場設置及び手すり設置	570千円
	図書館費	図書購入費。約20%は地元購入	2,759千円
	旧学校管理費	旧二中、坂小、荒木小、小野津小の管理委託及び旧早小、阿伝小、滝川小の除草業務を7団体へ委託	2,381千円
	旧学校管理費	旧坂嶺小の雑木撤去	165千円

# 決算審査現地視察

報告者  
広報委員  
土岐和貴

## 観光ビジネス拠点『KIKAI BASE』



### 自然豊かな観光施設

旧荒木小学校の校舎は、シンボルツリーのガジュマルを眺めながらゆったりとした時間を過ごすことが出来る空間として生まれ変わりました。

こうした観光スポットの近くに位置し、光インターネット回線で快適な仕事環境を整え、飲食テナントや、キッズスペースを併設することで、職場機能だけでなく、観光拠点、町民の皆さまの憩いの場となる施設です。



### カフェで島野菜を堪能

島の野菜を使ったランチや、島の野草で作ったお茶などをお楽しみいただけます。観光のお客様と町民の皆さまが気軽に利用でき地元と来訪者の接点となり喜界島観光のリピーター増加や喜界島ファンを増やすことで、移住定住の促進につながることを目的としています。

## 喜界島の関係人口増加プロジェクト

### 新たな特産品

### づくりを通して

現在、約6500人に。そんな人口減少が著しい喜界島を盛り上げたい。島の魅力をもっと島外に発信したい。という思いを持ち島への定住を決意した移住者・現地域おこし協力隊が島産品を使った新しい特産品づくりを開始。離島活性化に向けたチャレンジが始まりました。美味しい喜界島の素材をオールシーズン楽しんでいただけるようにと、代表の谷川理氏は熱く語りました。



# “畜産農家への支援強化”

## 令和5年度 補正予算の主なもの

### ◎ 総務文教常任委員会報告 (委員長:野間 弘也<sup>のま ひろや</sup>)

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	施設改修工事(町単独事業)	坂嶺小避難所のトイレ改修に伴う資材の高騰による増額	1,000千円
	脱炭素化推進費	脱炭素化に向けた取り組みで電気自動車を2台運用するため庁舎内に設備整備を行う費用	4,240千円
		打ち上げられた軽石を役場庁舎敷地内で敷材として活用するため、志戸桶の堆肥場から移動するための重機借上げ料	2,000千円
企画観光課	(歳入) 特定寄付金	今年3月に寄港したクルーズ船(フランスのポナン社)からの寄付金	999千円
	移住促進事業費	空き家改修の件数増加に伴うもので、今年度は現在12件の改修を予定	2,000千円
	サンゴ留学事業費	新たに寮を整備するため、旧前川病院の施設解体・撤去工事費	12,500千円
	ジオパーク推進事業	ジオパーク認定に取り組んでいることを町民へ知って頂くための懸垂幕設置や、のぼり旗、ハッピー等の購入費やロゴマークの商標登録を行うためにかかる費用	870千円
町民税務課	賦課徴収費	道路交通法の改正により特定小型電動付き自転車に標識(ナンバープレート)の取り付けが義務付けられたことによる、新規のナンバープレートの制作に係る費用	77千円
	町民税務課委託料	TNR(野良猫の不妊・去勢手術)を行うための委託料で処置数の増加により増額	200千円
	火葬場費	火葬場の待合所のエアコン購入費	800千円
	環境衛生施設費(と畜場改修費)	保健所から指摘を受けた、と畜場の修繕費で、事務所の柱、ドア・サッシ、熱湯消毒機の台、室外水道蛇口の取り換え、室外コンセント、側溝のふたの取り付け等の費用	580千円
	塵芥処理費	クリーンセンター内のごみを持ち上げるクレーンのワイヤー取り換え費用	3,000千円
		「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づき、令和6年度からクリーンセンターの運営を民間業者へ委託する計画をしており、その移行を行うための準備として民間業者へ9月から12月まで業務を行うための委託料	4,175千円
教育委員会 総務課	脱炭素化推進費	老朽化に伴う喜界小学校体育館の建て替えを補助率の高い事業で実施するための基本設計委託料	4,000千円

## ◎ 産業福祉常任委員会報告 (委員長: <sup>いこまひろし</sup>生駒 弘)

担当課	事業名	内容説明	予算額
農業振興課	(歳入)総務費国庫補助金	(歳入)総務費国庫補助金 新型コロナウイルス感染症対応に係わる地方創生臨時交付金 (物価高騰分)	46,483千円
	(歳入)辺地対策事業債	畑地帯総合整備事業の確定に係わる起債の組みなおし等	600千円
	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業	畜産事業者支援補助金 サトウキビ生産者支援補助金 園芸生産者支援補助金	47,063千円
	加工販売施設運営費	設備の経年劣化に伴う修繕等	1,570千円
	農地費	農道が陥没・水路破損等の修繕料	7,500千円
	施設新築工事(町単独事業)	大朝戸地区の畑総事業に伴い農道の伐開等	20,000千円
	鳥獣防止対策費	1万5千円から2万円に増額。昨年は75頭、今年は半年間で 142頭と約2倍の成果が出ている為の増額	2,000千円
まちづくり課	(歳入)喜界町災害対策基金繰入金	喜界町災害対策基金繰入金	38,406千円
	(歳入)公営住宅建設事業債	地域住宅交付金事業	7,000千円
	(歳入)道路維持費	集落要望に伴うもの。町道の雑草除去費	7,900千円
保健福祉課	(歳入)民生費国庫補助金	新型コロナウイルス接種体制確保事業補助金。国からの補助金。子育て世帯生活支援特別給付事業補助金。令和5年度分の5万円給付の40名分	8,435千円
	母子保健事業費	スポットビジョンクリーナーで3歳児健診の時に使用する、弱視(斜視・遠視・近視等)を早期に発見して治療するための備品。妊産婦助成金は最近ハイリスクの妊婦、体質・病気等で早産の恐れがある。島外専門の産婦人科病院の近くで待機してくださいという事案が増えてきており長期になる事案が多い。1泊5千円を上限として90日、3分2を町が補助。1人当たり30万円×4名分です。今年度4月にさかのぼって実施	2,740千円
	子育て世帯生活支援特別 給付金事業費	5万円の40人分 国から交付金として充てられる分	2,000千円

## ◆ 陳情・条例等案件報告

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
陳情第5号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算にかかる意見書採択の陳情について 教職員の労働時間、業務負担の軽減により、生徒へも良い影響へ繋がると考えます。	11	0	採択
議案第39号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合理約の変更について 伊佐北始良環境管理組合が伊佐湧水環境管理組合と名称が変更となったため規約を変更	11	0	可決
議案第40号	字の区域変更について 手久津久地区畑総事業の工事、確定測量も完了し、それに係わる字の統合、境界が変わっているため統合・変更になります。	11	0	可決
議案第41号	喜界町下水道事業の設置等に関する条例の制定について 管理者を別に置かないで町長が管理者の権限を行う。年2回町長に業務状況を報告すること。令和6年4月1日から施工する。	11	0	可決

# 一般質問 町政のここが聞きたい

第3回定例会で6名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。  
質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する  
よねだ のぶや  
米田 信也 議員

## スギラビーチ側の駐車スペース 拡大へ

【質問】

現在、臨海公園内ステージ側及びグランドゴルフコース側は駐車スペースが確保されているが、ビーチ側については駐車スペースが少なく、路上駐車を余儀なくされる。

令和6年度には、ジオパーク指定を目指す本町としては、観光スポットとしてのスギラビーチを整備しなければならぬ。

今年度からバスがスギラビーチ沿いを運行している、スギラバス停の利用客も、この5カ月で74名である。

しかし、道路幅が狭く、路上駐車のために、すれちがいが出来ない。また、夏休みなど子供たちの飛び出しもあり、大変危険な状態にある。

ステージ側の駐車場は、真つすぐ前に駐車できるように確保されており、ビーチ側は駐車スペースがなく、路上駐車が多く、バスの運行時、すれちがいができず、大変危険な状態がある。

ステージ側の駐車スペースから真つすぐロープを引っ張れば、駐車

スペースがビーチ側まで確保できると思われる。  
このことに関して町の見解を伺う。



スギラビーチ駐車場拡大予想図

【答弁】 企画観光課長

ビーチ側は台風のために砂があがる状況で、空港臨海公園の整備当初より、ビーチ側の駐車場は想定していない。

提案資料を参考にして、今後、事故防止の観点を最重点に置きながら既存の駐車場スペースと、空港側、滑走路側の駐車場に対応したいと考えているが、この提案を受けて、再度協議をしていく。

## 観光大使 増員

【質問】

現在、喜界島観光大使は松井美緒さん一人である。これは、令和3年4月1日に施行された喜界島観光大使設置要綱により任命された。町長のトップセールスと、PR動画によつて喜界島の観光と物産もPRする。

そのことを踏まえて、さらなる観光客の獲得等に向けた観光大使を

増員し、さらにPR活動をしてもらう考えはあるのか伺う。

【答弁】 企画観光課長

松井美緒さんが観光大使に就任して、約2年になる。

新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが開催されない中、観光大使としての職務や島内における大使の紹介等、思つように行えていない。

昨年度、東京にて開催された喜界島フェアで、トークショーや試飲用のお茶の提供など本町の魅力発信に尽力いただいたのが初めてのケースである。

本年、開催された喜界島マラソンでは、スターター役や町民と一緒に沿道で、ランナーへ声援を送るような形で、大使の活動が本格的に開始されてきたので、まずはその活動基盤をしっかりと固めた上で、次なる大使を今後検討していく。



観光大使として活動する松井美緒さん







質問する  
どき かずき  
土岐 和貴 議員

### 「小粒でもきびびり輝く島」 実現に向けて

#### 質問

- ① 「小粒」であることの認識とあるが本町が考える「強み」「弱み」とは具体的にどのようなことか。
- ② 住民サイドに立った施策の立案と、「独自性」「先駆性」をもった施策の展開をするところだが、どのような取り組みか。
- ③ 本町の弱みの一部である「消極的な姿勢」を払拭するために行っていることはあるか。

#### 答弁 町長

- ① 全体の施策等を決定する際、他自治体との協議の必要性もなく、町内における限られた関係機関や関係者と様々な取組がスムーズに行える。弱みに関しては他地域からの流入が少ないため新しい発想や産業の創出等が生まれにくいと考えている。
- ② 隆起サンゴ礁の島という特性を活かしたサンゴ留学制度やジオパーク認定へ向けた取組を今現在行っている。

### 未来のためにも若い世代の声を 聴いてほしい

#### 質問

- ① 少子化の背景として、経済的自立、仕事と家庭の両立、子育てに対する若者の様々な不安心理が作用していると考えられる。
- ② 子どもや子育て家族を地域全体で支える組織的な支援体制とは。
- ③ 妊産婦や子育て世帯に向けてアンケート等を実施していると思うが、その中で多く挙げられる「不安」「悩み」はどのような内容か。
- ④ 重要業績評価指数(KPI)で出生数の目標値が令和6年には年間60人となっているが、目標に向けての取り組みや課題等はあるか。
- ⑤ 共働きを前提とした社会に向けた支援など、結婚や子育てを望む若者に向けて、夢を与えられる環境づくりも必要ではないか。

#### 答弁 町長

- ① 子育て支援センターを設置。母子相談や親子教室など実施し、子育て世帯の支援体制の強化を図っている。来年度、次期子ども・子育て支援事業計画を策定し、さらなる充実を図っていく。

- ② 家族と離ればなれになることへの不安等が挙げられている。アンケート結果を基に、相談支援の充実をさらに図っていく。
- ③ 今年度より1歳児、2歳児を対象に、しまの未来特別応援給付金制度を創設。さらなる子育て支援の充実を図っている。今後とも県や市の施策に先立ち、町の財源を使った子育て支援を充実させたいと思っている。
- ④ 今後、会議や協議会等で意見交換を行い町民が一体となって子育てがしやすい新たな環境づくりをさらに取り組んでいきたいと考えている。

### 海ごみを軸に 地域のつながりを深めていく

#### 質問

- 景観や生態系、処理費用などさまざまな問題を抱える海ごみ。「みんなで海を守る」として島だから行く」という人を増やし観光振興や環境保全の両立を目指していくことで島の未来は明るくなるかと考える。「特定の誰か」が活動するだけでなく、「ごみがあったら自然と手が伸びる人・地域」を増やしていくことが本町の自然保護につながっていくのではないか。
- ① 「ごみがあったら拾う」という行動を島全体で習慣・文化として根付かせることができれば、本町の自然保護に向けての一步を踏み出せるかと考えるが見解を伺う。

#### 答弁 町民税務課長・教育長

- ① 本町は、鹿児島県で唯一「日本で最も美しい村」連合に加盟している。今後、ごみ処理検討対策委員会で具体的に提案、検討していきたいと思っている。
- ② ごみ問題などを含めた様々な事象を通じた環境教育や地域素材を活かした郷土教育を総合的な学習の時間を中心に展開している。そして外部講師等を招くため予算化している。各学校でもジオパーク教育の一環として、喜界島サンゴ礁科学研究所と連携した学習を取り入れる計画を進めており、これも予算化している。



拾い箱(志戸桶こども会)



質問する  
のま ひろや  
野間 弘也 議員

## サンゴ留学事業 官民連携の必要性

**質問** 受け入れにあたっての課題や問題点(学校やサンゴ礁科学研究所との連携など)について伺う。

**答弁** 企画観光課長 学校やサンゴ礁科学研究所との連携は、配置しているコーディネーターを中心に随時行っている。また、役場、高校、中学校、サンゴ礁科学研究所との連絡協議会を年3回程度開催し連携及び情報共有を図り、日常生活を過ごす上で発生した様々な問題点などは、その都度、臨機応変に対応し寮のルールやスケジュールの見直しを行い改善を図っている。

**質問** 受け入れ後の寮生活、寮運営等での課題について伺う。

**答弁** 企画観光課長 コーディネーターの勤務時間と寮生の生活時間のずれによる対話不

足や感染症などの対応が課題となっているが、この件についてもその都度見直しを行い対応している。今後は、生活面や地域の方とのつながりをサポートする係、学校、サンゴ礁科学研究所との連携をサポートする係、生徒募集に携わる係、3人体制での事業実施ができればより円滑な寮運営ができると考えている。

**質問** サンゴ留学学生の受け入れ目標者数について伺う。

**答弁** 企画観光課長 連絡協議会にて寮の規模、受入れ体制等について協議し決定することとなる。

**質問** 受け入れ者数増加に向け新たな寮整備計画の現状について伺う。

**答弁** 企画観光課長 全てのサンゴ留学学生を管理できる体制の寮を整備したいと考えている。今年度は旧前川医院の解体撤去を実施し設計を行う。建設については、来年度以降新たな事業の形で予定をしている。事前に視察等を実施し、寮のみの利用ではなく、地元の高校生との交流ができる多目的交流施設としても計画を考えている。来年度は、空き家を活用し受け入れる予定である。

## 意欲を持てる職場に 町職員はタレント

**質問** 現在の職員配置、体制で業務が円滑に進められているか(チーム制の状況について)伺う。

**答弁** 総務課長 導入から3年経過したチーム制については、職員の意見を聞きながら段階的な検証も行っている。また職員個々の取組姿勢も重要であり、チーム制にこだわらず良いところは生かし見直すべきところは見直し柔軟な対応を心がけていきたい。

**質問** 今後の職員数のあり方についてどのように考えているか伺う。

**答弁** 総務課長 国の制度改正、さまざま案件、コロナ対応などイレギュラーな案件等で一部職員に負担がかかっていることは認識をしている。定員管理については、第6次喜界町定員管理適正化計画の中で動いており、中間年にあたる来年度に見直しを予定している。地方自治体を取り巻く状況、環境も変わってきているなか、実態に即した、職員に無理のない柔軟な対応を考えている。

**質問** 庁舎内の環境整備や育児・産後休暇の取得など働きやすい環境づく

くりをどのように行っていくのか伺う。

**答弁** 総務課長 職員組合とも意見交換を行いながら、職員の視点に立って改善できるところは改善を行っていく。また産休、育児、その他の休暇についても取得しやすい職場でのコミュニケーションの重要性を念頭に、管理職をはじめ、職員各々が配慮できるような職場環境を目指していきたい。環境整備については、BGMやスペースの有効活用も含めて形にとらわれず、職員が働きやすい環境、職場、そして町民の皆さんが訪れやすい庁舎を目指していきたい。



旧前川医院を活用したサンゴ留学の学生寮



質問する  
よしおか りいちろう  
良岡 理一郎 議員

### 土地利用規制法への対応は町民の財産を守ることに

#### 質問

- ① 土地利用規制法の概要。
- ② 本町の特別注視区域内の対象施設及び区域内の集落名、住民数、地目の特徴。同区域内の200mを超える土地・建物の売買契約の届け出について伺う。
- ③ 本町の注視区域内の集落名、住民数、地目の特徴。
- ④ 今後、政府の調査予定、調査後の区域の変更があるのか。
- ⑤ 現状を踏まえた町長の認識を伺う。

#### 答弁 町長 総務課長

- ① 法の概要について注視区域は防衛関連施設等その周辺おおむね1,000メートル区域及び国境離島や有人国境離島地域を構成する離島の区域である。特別注視区域は注視区域のうち、機能が特に重要なもの等となっている。
- ② 特別注視区域の対象施設は自衛隊喜界島通信所であり、対象集落は城久、川嶺、山田で集落民は2

39名。地目は畑、宅地が主である。200m超の土地・建物の売買については契約締結前に売主と買主双方が届け出を行う必要がある。

- ③ 注視区域は、まず塩道、花良治、蒲生、佐手久、志戸桶東部、志戸桶南部集落、それから浦原、先山、上嘉鉄西、上嘉鉄中、上嘉鉄東、手久津久集落、それから荒木集落である。3か所の住民は1,863名で地目は宅地、畑、海岸地帯である。
- ④ 区域指定移行後も利用状況調査は継続して行う。調査結果で区域変更は想定していない。
- ⑤ 現状を踏まえての認識は、今のところは直接的には影響はないのではないかと認識している。もし町民や財産に影響があるのであればそれなりに対処したいと思っている。

### 来年秋の健康保険証廃止は延期すべき

#### 質問

- ① 本町のマイナカードの対象者数、交付者数交付率。国と県の交付率。
- ② 未交付者枚数（申請者未引き取りで役場に滞留している枚数）、その対策。
- ③ マイナ保険証に関する共同通信社のアンケートはどのように回答したか。

#### 答弁

- ① マイナカードの交付状況は本年

8/20現在、対象者数6,565名、交付者数が4,625名、交付率70.45%である。

- 国の交付率は75.23%、県が81.04%である。
- ② 未交付枚数は8/23現在、1カ月以上滞留しているのは67枚。今後の対応は引き取るよう再通知をする。その後、半年を過ぎた時点でICチップを裁断し廃棄する。
  - ③ さまざまなトラブルが起きている中で、国民の不安感が高まっていることなどを考慮し共同通信社のアンケートについては来年秋の保険証廃止を延期すべきと回答している。

### 共同納骨堂は検討委員会を解散今後は町に二任

#### 質問

- ① 現在の進捗を伺う。
- ② 町長の決意を伺う。

#### 答弁 町長 町民税務課長

- ① 令和4年7月15日開催の第3回納骨堂検討委員会をもって委員会は解散した。
- 検討内容は、建設場所、運営方法、納骨費などを議論し、最終的には出された意見を基に町に二任した。
- ② 納骨堂は多くの町民が必要性を感じており、いろいろ難しい面もあるが前向きに検討していく。また、耐用年数47年の火葬場と一体化しての建設を検討していきたい。

### 香典料は関係団体との意見交換情報収集を検討

#### 質問

本町の香典料は町内関係団体との申し合わせにより長い間2,000円から3,000円を慣習（目安）としている。

最近では年金の実質減、物価高騰とも相まって見直しの要望も聞かれる。関係団体の皆さんと協議して見直しを検討していただきたい。

#### 答弁 教育長

本町は過去に、町教育委員会、町区長会、地域婦人会連絡協議会等の連携で喜界町生活改善実践事項として、冠婚葬祭の持参金や当時の料理の献立などについて一定の考え方が提示された経緯がある。香典料は3,000円の相場感が定着したものと考えている。

香典料は基本的には個人の判断や思いによるものであり、場合によっては価値観や思想・信条と言ったことにも触れる機微な問題である。慎重な対応が必要である。

一方で、環境の変化もみられることから何らかの機会に関係団体との意見交換、情報収集を検討していく。



質問する  
いくしま つねのり  
生島 常範 議員

### 早期船便利用者の交通手段 早期解決を

質問

一度も取り上げたが改善がない。島民だけでなく、島外、海外から来島の方にも申し訳ない状況で喜界島の印象が悪くなる。24時間公共交通が機能している状態になるのはいつなのか。

答弁 町長・企画観光課長

出来るだけ早く解決するよう検討しているが、現状をお詫びしたい。全国的に運転手不足で国も制度改正に取り組んでおり、本町も道路運送法に基づき公共交通会議で議論している。改善策の結果が公開できる際には町民にもお伝えしたい。

### 早町港潮位計設置は困難

質問

一度取り上げ、市町村会、国や気象庁そして徳之島、沖永良部、与論の首長とも話すとのことだがどうなったか。

答弁 町長

海保、気象庁、国土地理院、自治体がそれぞれの目的のため潮位計を設置しているが、改めて本町は何を目的に要望するのか、緊急性、必要性から考えた結果難しいと判断し、関係機関及び群島内首長とも話はしていない。

### 相撲場整備は検討

質問

体育館で土俵マットを使用して開催した夏祭り相撲大会は子どもから大人まで熱の入った取り組みや新生児の土俵入りで大変な盛り上がりだった。

しかし、脳震盪を起すのではとの心配の声もあった。相撲場施設はいつ完成するのか。

答弁 教育長

相撲場は平成30年の台風被害で撤去したため、今回は(財)日本相撲連盟認定の室内土俵を使って実施した。子ども達には有効活用できるが、成人力士にはケガのおそれや踏ん張りが効かない等課題などもあったので、新たな町営相撲場整備に関して相撲連盟とも連携して検討したい。

### 中里殉難供養塔などの 景観維持は課題

質問

喜界町・喜界町議会協賛で建て

られた中里・立波(たんにやみ)の「巖部隊二番機殉難供養塔」は町民に知られておらず、管理は高齢の方が行っている。表示板等設置し行政だけでなく、広く町民に存在を知らせ、町民参加型で持続可能な景観維持の仕組みをつくれぬか。

答弁 町長

慰霊碑等の維持管理は全国的な問題だが、その存在は大変重要だ。これまで携わってきた関係者の意見を聴いて適正な関わり方を探していきたい。

質問

歴史的文化遺産で水天宮の総本山とも言われる百之台水天宮はかつて集落の代表が集まって雨乞いをした所でジオパークを目指す島としても重要な場所だ。案内板設置等で町民に広く知らせ、一緒に管理していく仕組みを作れないか伺う。

答弁 町長

現在は管理者がいるようであるが、ジオパークを目指す島としてサング、湧水、雨乞い等の歴史文化を大事にしていくこととなると必ず入る場所だと思うので、そうしたひとつひとつの内容で提案して頂きたい。

質問

沖名泊、平家森と並ぶ重要な史跡である七城跡。平成29年、先輩議員の質問に「七城跡までの案内板設置や樹木の伐採、除草等を考

えている」との答弁だった。平家上陸の足跡が理解できる案内板設置や町民に呼びかけて「海への視界は東側に180度」(喜界町誌)が実感できる景観維持ができないか伺う。

答弁 町長・教育長

前回は文化財保護の観点から必要な検討するという旨の答弁だったが、七城跡は県、町指定の文化財ではないので、文化財保護審議会等で議論して頂いて判断したい。除草等は集落と一緒にやっていきたいが、180度視界のため崖の雑木伐採は安全面確保が困難なのでご理解頂きたい。

### 町民参加型の慰霊祭再開は 検討

質問

悲惨な戦争の記憶と平和の尊さを若い世代に伝えるためにも、以前のように自然休養村管理センターでも開催し、子ども達を含む一般町民にも参加して頂いては如何か。

答弁 町長

平成26年に遺族会が解散したことを機に平成28年からは終戦記念日に遺族と行政関係者が百之台の慰霊塔前で追悼している。近年は遺族の参加も無くなったが、遺族の方々や関係者と協議して節目の年等で追悼式等ができないか検討したい。



質問する  
さかえ ゆうた  
榮 優太 議員

### 公園管理の縮小見直し財源を 公民館の充実した整備へ

**質問**  
① 将来人口を見据え公園管理コスト削減や有効な活用について見直しが必要ではないか。利用頻度の少ない公園や活用性のない公園の廃止。  
② 毎年の公園管理維持費は何か所くらいで幾らくらいか。

③ 公園や学校跡地グラウンドなど、集落公園管理は集落作業で補い管理できない所は、廃止も検討しトイレや水道など、修繕費のみ助成してはどうか。  
④ コスト削減できた費用は利活用性のある観光スポット整備や公園のさらなる遊具整備、また、集落公民館の充実した整備費用に充てることもできると思うが見解を伺う。

### 答弁 企画観光課課長

① 公園の見直しの必要性を感じている。現在、町管理公園など32か所の点検作業を行い、今後、関係各所に協議の上、縮小、廃止、改修等、改善を図っていく。  
中西公園については地盤沈下、陥

没のおそれがある危険箇所とのことで、現在公園から除外し、国立公園指定解除の手続を進めている。  
② 令和4年度で企画観光課所管分で18か所、2,360万円。

### 答弁 町長

③ 初期の目的を達成したもののや活用がされていないものについては、廃止の方向に進んでいくとは思っている。集落や町民の意向も尊重しながら全体的な見直しを検討、集落や町民から積極的な声があれば柔軟に対応していきたいと考えている。  
④ コストの削減が図られるのであれば、公園管理経費にこだわらずに、現状に応じた予算配分ができるものと考えている。

### 災害時避難場所である集落公民館の充実した環境整備を

### 質問

① 災害時、多くの集落民が避難する公民館であるが、空調設備やマットレスなどないため、避難者が限界まで避難しない理由でもある。子供からお年寄りまで、快適に避難生活ができるよう、空調設備やマットレス、発電機などを支給できないか。  
② 集落公民館に避難者が増えれば、役場庁舎や休養村管理センターのみ避難所開設をし、ほかの施設の避難開設を減らすことにもなり、対応する職員減にもつながると思う。また、公民館の利活用頻度も増

え、集落活性化にもつながることから、公民館のさらなる充実した整備の検討を進めてはいかかか。

### 答弁 総務課長

① マットレスについては貸出しをしている。集落公民館に置いておくことも可能、発電機については、今のところ特に配置は考えていない。空調設備については現在宝くじ助成事業を活用して、各集落、公民館に順次設置をしていただいている状況。宝くじ助成事業の予算を確保した上で、事業を活用した集落コミュニティ設備の充実を図りたいと考えている。

② 公民館の改修については、高齢、公共施設の長寿命化計画にのっとり、年次的に実施をしている。  
令和3年度から4年にかけては新型コロナウイルス対応の地方創生臨時交付金があり活用して機能強化、雨戸設置やトイレの解消など一時的な機能強化ができたが、今後補助事業があれば、積極的に活用していきたい。

### 燃油 飼料 肥料価格高騰 農家への支援拡大

### 質問

① 長期的に続いている高騰対策の更なる支援は考えているか？  
② 子牛価格の低下により生産者が悲鳴を上げている。燃油や飼料が高騰して子牛の価格まで大きく下がっているため、これ以上長引くと

廃業する生産者の話も聞こえてくるが早急に支援できないか。

### 答弁 総務課長

① 前年度に引き続き国の地方創生臨時交付金を活用し、支援策を講じる。畜産関係では、農業共済、家畜共済の掛金に対する支援、それから糖業並びに園芸関係については、農薬や肥料の価格高騰に対する支援を計画している。

### 答弁 農業振興課

② 今般の飼料価格の高騰や子牛セリ価格の低迷などにより、5年前と比べ飼養頭数は増えたが、経費が上がり、収入が減少するという大変厳しい経営状況となっている。  
畜産農家では、牛の飼育に必要な飼料代などを捻出することが優先され、家畜共済事業に加入できない農家が現れてきており、今後もさらに加入が困難な農家が出てくる。国が現在最も危惧されている。国の臨時交付金を活用し、全畜産農家を対象に家畜共済の掛金を支援し、セーフティーネットを維持することで、畜産農家の経営安定並びに様々なリスクの回避、負担軽減につながるように、早急に対策を講じていきたいと考えている。

読者の声

〓 何もないシマにあるもの

くらはし よしこ  
倉橋 佳子 (志戸桶集落・40代)

どこまでも広がる青い空と碧い海―

まだ学生の頃、スキューバダイビングをしに訪れた喜界島。海と人に魅せられ、毎回船で帰るのが名残惜しくてたまりませんでした。都会に比べると何もない島ですが、当時はそれが新鮮で心地よかつたのかもしれない。

あれから二十数年。縁とは不思議なもので、いま私は島に暮らし、三人の子育てをしています。何もないですが、退屈しないこの島が大好きです。

〓 〓 喜界島の海の美しさ、豊かさは群を抜いています。島に暮らしていると、島の人たちが海は怖い。と言ってあまりサンゴ礁域にまで泳いで出たりしないことに驚きました。こんなに海が身近なのに、私たちがダイビングしながら当たり前に見ていた美しい景色を島の人たちは知らないのだな、と。あんなに綺麗なのにもつたいないな、と思ってしまう。是非一度見てもらいたい！

私自身以前は海の仕事に携わり、主人は漁師、主人の父も漁師で母は今では島で一軒だけになってしまった魚屋を営んでいます。海好きには恵まれ過ぎた環境です。

島に長年暮らして感じてくることは『島魚を島人が食べていない』という事です。理由は様々あると思います。漁獲量や価格、調理の仕方…。そもそも島でどんな魚介類が獲れるのか、特に若い方々は存じない方も多々あります。もつたいないなあ…。

〓 〓 鮭や鯛(ぶり)なども美味しいですが、是非島に暮らす人に島魚の美味しさを知ってほしい。新鮮な島魚をたくさん食べてほしいと思っています。

今だに驚くことなのですが、獲れる魚のほとんどに方言の名前があるんですね。港で釣れる魚にも、です。きつとずつと昔から獲っていて馴染みがあるからこそ方言名があるんだと思います。本当にいろいろな魚に方言があつて面白いです。

方言と言えば、島の方言もまた独特で非常に面白いですね。

以前から島のおじやおばあさんと接することが多かったのですが、おかげさまで聞き取りはほぼ不自由なくできるようになりました。流暢に話すのはまだまだ難しいです。

〓 〓 沖縄の方言と似ているようで違い、また奄美とも若干違う。更に島内でも集落が変われば方言も変わる。なんて面白いんだろう！難しいけど！と思いつつ、子供が持つてくる方言の宿題では一緒に勉強させてもらっています。

〓 〓 島魚も方言も、他所にはない島の大きな魅力のひとつだと思います。他にも面白いものたくさんありますよ。何もない、なんてことはない！

ご案内

次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会

皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。

(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

議会のうごき (10月~12月)

10月31日

離島町村議会議長行政調査  
(鹿児島県出水郡長島町) 議長

11月28日

離島議長全国大会 (東京) 議長

11月29日

議長全国大会 (東京) 議長



喜界町議会  
広報委員会  
委員長  
良岡 理一郎  
副委員長  
生島 常範  
委員  
野間 弘也  
倉橋 博都  
米田 信也  
土岐 和貴

文責 倉橋 博都

新型「コロナウイルス」感染症が、5類に移行になり徐々に元の生活に戻りつつあると感じる。9月10日喜界中学校の体育祭、9月24日早町小学校の運動会が行われ、保護者及び一般の観戦が何の制限もなく応援できたのはとても嬉しい。私も、議員になり初めて参加した小学校の運動会では、孫と走りとても有意義な一日でした。

議員、広報委員会活動をこれからも頑張りますのでよろしくお願いたします。

編集後記